

ホルムアルデヒド等・CH₂O

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（化学用安全ゴーグル、保護シールド、全面保護マスク）、適切な保護衣（エプロンと長靴、化学防護服）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 吸入した場合… 空気の新鮮な場所にさせ、半座位の姿勢にさせる。呼吸困難な場合は、酸素吸入させる。できるだけ早く、グルココルチコイド吸入用スプレーで繰り返し深呼吸させる。医師の診察、手当を受けること。 ○ 皮膚に付着した場合… 汚染された衣服を脱がせる。皮膚に付着した部分を流水で10～20分以上洗浄する。医師の診察を受けること。 ○ 眼に入った場合… 流水で10分間洗浄する。直ちに医師の診察、手当を受けること。 ○ 飲み込んだ場合… 口をすすぐ。意識がある場合は、コップ一杯の水を飲ませる。可能であれば、1～2% 塩化アンモニウム水溶液、炭酸アンモニウム水溶液、または20% 炭素水溶液を飲ませる。医師の診察、手当を受けること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業場所には適切な局所排気装置等を設置する。 ○ 取り扱い場所の近くに洗浄のための設備を設ける。 ○ 床に排水溝を設けないこと。 ○ 容器を開けたままにしない。 ○ 飛沫、接触を避ける。床への浸透を避ける。（鉄製パンの使用） ○ 使用前に取扱説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ○ 機械類は防燥構造とし、設備は静電気対策を実施する。 ○ 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ○ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ○ 皮膚や眼への接触を避ける。接触した場合は洗浄する。蒸気またはミストの吸入を避ける。 ○ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。慎重に交換、洗浄しなければならない。 ○ 休憩前や作業終了時には石鹸と水で皮膚を洗い、洗浄後は脂肪分の多いスキンケア製品を塗布する。 ○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 ○ 地面や河川、下水への流出を避ける。少量でも流出した場合は、自治体に連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込むと有害 ○ 吸入すると生命に危険（鼻咽頭粘膜の刺激、灼熱感、くしゃみやみだり、風邪、場合によっては喘息発作・喘息性不調、高濃度は強い呼吸障害、咳発作、胸の圧迫感、頭痛、循環器反応を引き起こすことがある。声門浮腫・痙攣、気管支痙攣、場合によっては気管支炎、肺炎、肺水腫のリスク） ○ 皮膚に接触すると有害（濃度・時間・時間に依存する腐食への刺激、皮膚の硬化と日焼けを伴う表皮在性の凝固壊死、眼窩周囲水腫、尋麻疹、遅延性湿疹形成、皮膚損傷と関連した全身的影響の可能性） ○ 重篤な皮膚の炎症及び目の損傷 ○ 強い眼刺激（涙液、50ppm濃度は腐食を引き起こす可能性） ○ 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を引き起こすおそれ ○ アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ ○ 遺伝性疾患のおそれの疑い ○ 発がんのおそれ ○ 神経系、呼吸器の障害 ○ 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器の障害 ○ 水生生物に毒性 ○ 長期継続的影響により水生生物に有害